

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 3 日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県西磐井郡平泉町平泉字樋の沢56

氏 名 大協企業株式会社

代表取締役 武居 直人

電話番号 0191-34-2131

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大協企業株式会社 矢巾工場
事業場の所在地	岩手県紫波郡矢巾町藤沢10地割13
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	21 窯業・土石製品製造業
② 事業の規模	製造製品出荷額 2億7518万円
③ 従業員数	16名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリートくず→中間処理業者 汚泥→中間処理業者



（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

工場長(産業廃棄物外注管理責任者)

製造試験課(公害防止統括者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	コンクリート破片
	排出量	1859 t	15 t
	(これまでに実施した取組) ○コンクリートくず 排出するコンクリートくずのほとんどが納入現場で発生する戻りコンクリートであるため、過剰な発注とならないよう、施工者との連絡調整を密に実施している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	コンクリート破片
	排出量	1800 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ○コンクリートくず 排出する戻りコンクリートの受け入れ有料化等により、施工者側の意識を残コン減量への推進に取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

工場長(産業廃棄物外注管理責任者)

製造試験課(公害防止統括者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	59 t	0.55 t
	（これまでに実施した取組） ○汚泥 コンクリートの練り混ぜ水できる限り使用している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排出量	55 t	0.5 t
	（今後実施する予定の取組） ○汚泥 コンクリートの練り混ぜ水にできる限り使用する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） —
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） —

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	コンクリート破片
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	コンクリート破片
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	コンクリート破片
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	コンクリート破片
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
—			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	コンクリート破片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	コンクリート破片
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	コンクリート破片
	全処理委託量	1859 t	15 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	1859 t	15 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	○コンクリートくず 全量を処理委託し路盤材への再生を行っている。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
	—		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	59 t	0.55 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	59 t	0.55 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	○汚泥 戻りコンクリートは再生路盤材へ、スラッジ水は練り混ぜ水に使用し、工場で処理できなければ処理業者に委託している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートくず	コンクリート破片
	全 処 理 委 託 量	1800 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1800 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ○コンクリートくず 全量を処理委託し路盤材への再生を行う。		
※事務処理欄			

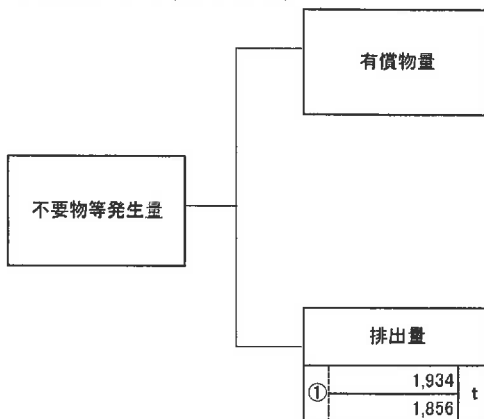
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	55 t	0.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	55 t	0.5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ○汚泥 戻りコンクリートは再生路盤材へ、スラッジ水は練り混ぜ水に使用し、 工場で処理できなければ処理業者に委託する。		
	※事務処理欄		

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 合計)

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



自ら直接再生利用する量

② 0 t
0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量

③ 0 t
0

自ら中間処理した後再生利用する量

⑧ 0 t
0

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	1,934 t	1,856
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t	0
⑤自ら熱回収を行った量	0 t	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0
⑩全処理委託量	1,934 t	1,856
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0
⑫再生利用業者への処理委託量	1,934 t	1,856
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0

自ら中間処理する量

④ 0 t
0

④のうち熱回収を行う量

⑤ 0 t
0

自ら中間処理した後の残さ

⑥ 0 t
0

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0 t
0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量

⑨ 0 t
0

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量

⑩ 1,934 t
1,856

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 0 t
0

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 1,934 t
1,856

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬ 0 t
0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

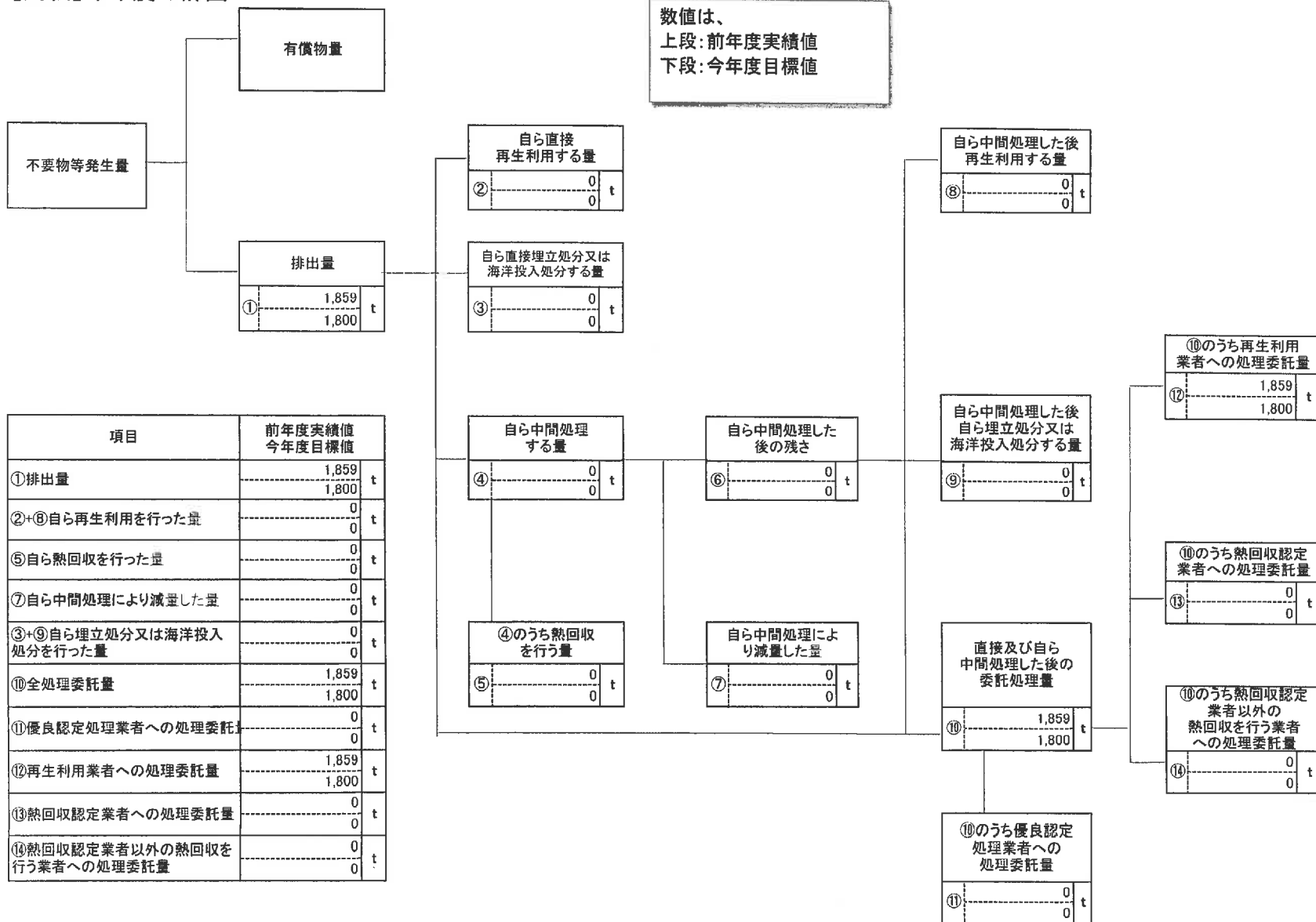
⑭ 0 t
0

【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: コンクリートくず)

)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



有償物量

排出量

②	0	t
	0	

③	0	t
	0	

⑧	0	t
	0	

⑨	0	t
	0	

12	15	t
	0	

(13)	0	t
	0	

14	0	t
	0	

10	15	t
----	----	---

11	0	t
	0	

④	0	t
	0	

⑥	0
	0

	0	
⑤	0	t

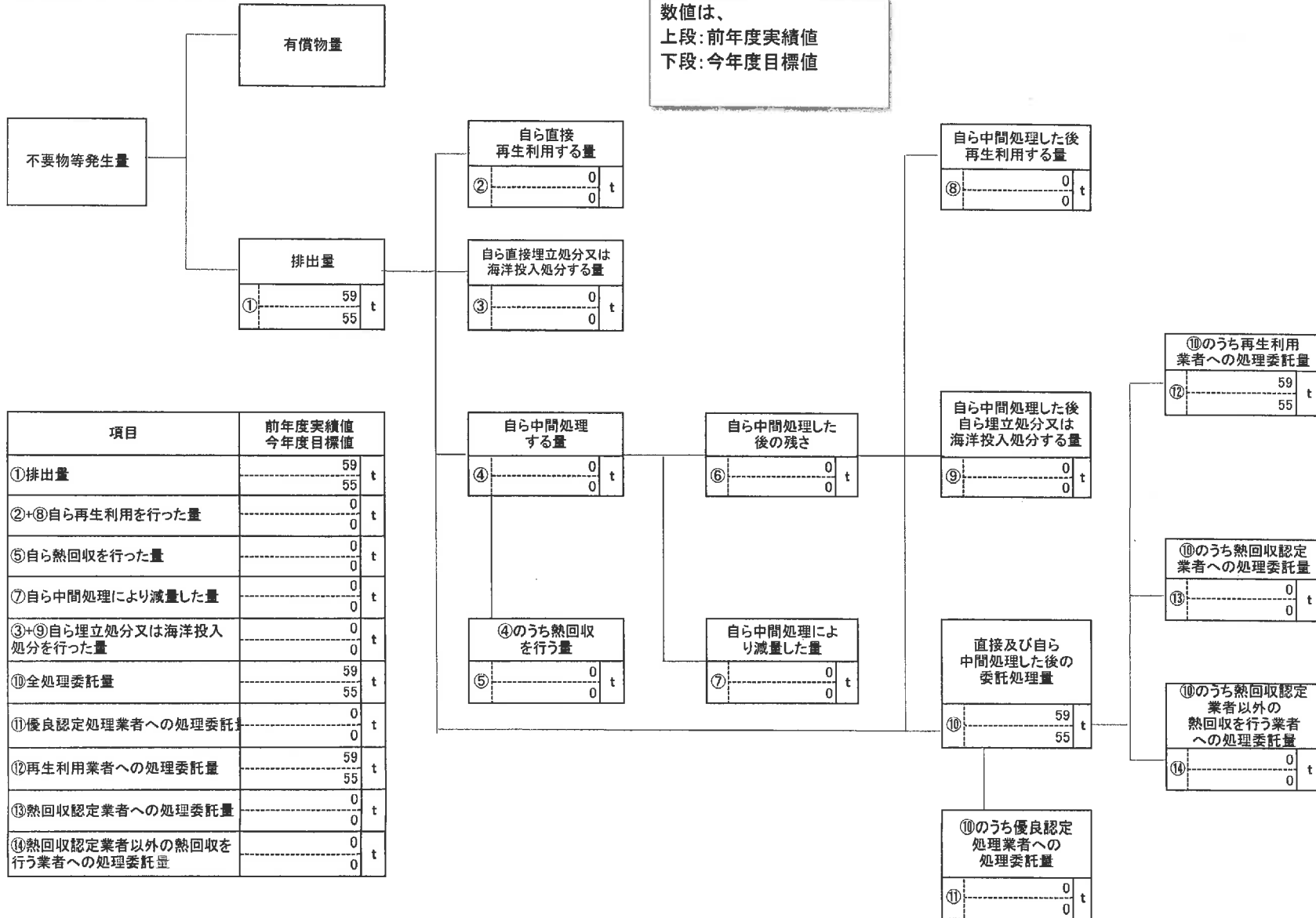
7	0
	0

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	15 0 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入 処分を行った量	0 0 t
⑩全処理委託量	15 0 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	15 0 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量	0 0 t

(産業廃棄物の種類: 汚泥)

【別紙】今年度の計画

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

